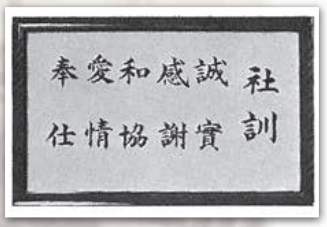
80年のあゆみ

KOBAYASHI
小林クリエイト株式会社

創業、そして試練の時代

記録紙国産化を志して

当社の動き		社会・業界の動き	
1937. 4. 1	初代社長　小林日吉　東京市滝野川区（現在の東京都北区）田端町に小林商店を創設し、工業用計測記録紙の製造販売を開始	1937. 7. 7	支那事変勃発
1938.10.	待望の「小林式継目なし記録紙」（KH式）の開発に成功 記録紙の国内需給体制が確立	1938.	王子製紙/レーシングペーパーの国産化成功
1939. 4. 1	商号を「小林商店」から「小林記録紙製造所」に改称	1939. 9. 1	第二次世界大戦開戦
1940.	振動系用記録紙およびロール方眼紙の製造開始	1940.	巴川製紙所/レーシングペーパーおよびグラシンペーパーの抄造に成功
1941.12. 8	田端町から田端新町に移転しオフセット印刷機などを増設	1941. 2.	特種製紙/統計機用カード（パンチカード）の国産に成功
1941.	メタリック加工紙を使った魚雷測定用記録紙の製造に着手		
1942.	陸海軍の指定工場となる 軍需の増大		
1944. 8. 1	名古屋市中区袋町（現在の名古屋市中区錦）に名古屋出張所を開設		
1945. 3.10	東京田端新町の工場が空襲により全焼	1945. 8.15	第二次世界大戦終戦
1945. 3.19	名古屋出張所が空襲により被災焼失		
1945.10.10	碧海郡新川町（現在の愛知県碧南市）へ移転し、事業再開		
1946. 4. 1	株式会社小林記録紙製造所を設立		
1947. 4. 1	碧海郡刈谷町太郎池（現在の愛知県刈谷市）に移転	1947. 5. 3	日本国憲法施行
1949. 4. 1	社訓を制定「誠実・感謝・和協・愛情・奉仕」 社章を◁▯▷から ◯◯ に変更		



社訓

記録紙事業の確立へ

記録紙の専門メーカーへ、そして新分野ビジネスフ

1950. 4.	野球部発足	1950.10.	本州製紙/国産初のマシンコーテッドペーパーおよびマシンコーデッドボードの製造を開始
1951.12.	電力系会社よりビジネスフォーム用紙の照会	1951. 9. 8	サンフランシスコで対日講和条約、日米安全保障条約調印
1951.12.	ロール記録紙の生産に凸版印刷方式を採用		
1952. 4.	ビジネスフォーム用紙部門へ本格的に進出		

小林式凸版輪転印刷機
第1号

12. 折り畳み記録紙の製造開始

1954. 3. 複写ビジネスフォーム用紙の製造開始（ワンタイムカーボン入り）

初期の
ビジネスフォーム

1955. 8.19 労働組合発足

1956. 8. 市場拡大、需要増加による製造設備増設のため、愛知県刈谷市の現在地へ本社工場を移転

小垣江移転後の
本社正門

1957. 4. 日本初のノーカーボンペーパーによるビジネスフォーム用紙の製造開始

1957. 5. 小林記録紙販売株式会社設立

1958. 8.18 【野球部】全日本工業人軟式野球全国大会で初の全国大会出場

昭和33年購入の
通勤バス

1959. スポットカーボンによる複写式ビジネスフォーム用紙の製造開始

1960. 多色刷高速輪転印刷機の導入によりビジネス・フォーム用紙製造工程の合理化を図る

1964. OCR、OMR用紙の製造に着手

1964. 9. 6 【野球部】Bチーム高松宮杯全国大会出場

1965. 記録紙終了マークの自動刷り込み開始単片用高速丁合機を導入、工程の合理化を図る

1965. 7. 1 保養施設「禧禄荘」を蒲郡に開設

1966.10.28 連続封筒の実用新案登録

1966.11.25 シンガポールへビジネスフォーム用紙を輸出

1968. 連続OCR、OMR用紙の本格的製造開始

1950年代

1960年代

1958. 紙パルプ業界がメートル法を実施

1962. 6. 十条製紙/細川活版所と共同で国内初のノーカーボン用紙を開発“CCP”の商標で販売開始

1962. 6. 三菱製紙/アメリカNCR社とノーカーボン用紙（NCR紙）製造につき技術提携

1962.10. 紙パルプが全面的に貿易自由化

1962.11. 神埼製紙/神埼工場でノーカーボン用紙の生産販売を開始

1964.10. 第18回オリンピック東京大会開催

拡充

1968.11.12 【野球部】中部日本都市対抗野球優勝

1969.10.26 【野球部】長崎国体出場

1969. 7. アポロ11号月面着陸

1969.11. 四国製紙/連続伝票用紙の加工を開始

1970. 7.15 【野球部】全国工場対抗野球大会にて初優勝

1970. 7.15 保養施設「禧禄山荘」を富士に開設

1970. 8.22 【野球部】全日本工業人野球選手権大会にて初優勝

1971.10. 愛知県安城市に安城工場を設立

当時の安城工場

1970. 1. 1 中井と富士洋紙店が合併し、日本紙パルプ商事として発足

1970. 3-9 大阪万博（日本万国博覧会）開催

1972. 2. 1 米国グラフィックコントロールズ社と提携契約を締結

1972. 7. 5 保養施設「禧禄渚荘」を愛知県吉良町に開設

1972. 6. 3 マレーシアに合弁会社設立

1974. 4.20 シンガポールに合併会社設立

1975. 3. 静岡県富士市に富士工場を建設

1970年代

1972. 石油ショック

1972. 3.31 山陽パルプと国策パルプ工業が合併し、山陽国策パルプとして新発足

1972. 5.15 沖縄返還

当時の富士工場

経営新体制の確立と製版一体体制の確立で基盤を強化

1975.10.26 【野球部】三重国体出場

1976. 1. 1 本社新社屋完成

1976.11.22 【野球部】佐賀国体出場（第3位）

1976.11. 2 小林祥浩が小林記録紙販売株式会社 社長就任

1977. 4. 1 小林祥浩が株式会社小林記録紙製造所 社長就任

1977. 合弁企業（安宅産業）倒産のため、マレーシア・シンガポールの合弁会社より資本を撤退

1977.10. 小林記録紙製造所にて、従業員全員参加による「生産活動における改善と合理化」を目的とした『ワンアップ運動』開始

1983. 4. 東京旧田端工場に事後処理センターを開設

1984. 定着した『ワンアップ活動』をステップアップさせ、小林記録紙製造所および小林記録紙販売株式会社にて、TQC活動を開始し、生産性向上のための全社的体制が実現

1986. 4. 1 ビジネスフォーム専用工場として第8工場が新設

1986. 男女雇用機会均等法施行

第8工場

記録紙とビジネスフォームの二本の柱を確立

ビジネスフォームの拡大

市場や技術の多様化そして情報化の進

1988.　【ヘルスケア製品】
BP-100
国産検体用バーコードプリンタの魁となった製品

BP-100

1988. 1.　マレーシアに現地印刷メーカーとの合弁会社設立

1988. 7. 4　「愛知労働基準局長賞進歩賞」受賞

1988. 9.14　【野球部】天皇杯第43回全日本軟式野球大会にて準優勝

1988.11.10　日商岩井など4社と合弁で情報処理会社株式会社アトラス設立

1989.　【カード】
フリーカラーカード（白濁・透明方式）開発
世界初のリライトカード開発成功

アルミカード（追記式）開発
アルミ放電方式のため、印字スピードが大幅スピードUP

【ヘルスケア製品】
AL-100
採血管用オートラベラー。
採血業務自動化への第一歩となった製品

AL-100

【磁気製品】
磁気製品(ドット印字方式)生産開始
磁気が塗布されたドット印字に対応した原反に印刷仕上加工を行う製品。

1989. 1.25　合弁会社株式会社神奈川ビジネスフォーム設立

1989. 6. 9　愛知県知事より「環境保全推進功労賞」受賞

1989. 7.11　株式会社KOSMEC（コスメック）設立

1990.　【RI製品】
ｅかんばん（One wayかんばん）の製品化成功、運用開始
従来のかんばんが部品メーカーと製造メーカーを行き来し、同じかんばんを繰り返し使用する「リンクかんばん」から出荷時に部品メーカーでかんばんを発行し、製造メーカーからの発注はデータ転送で行うOne wayのかんばんシステムに使用。
使用したかんばんは再生紙化することで省資源化が可能

1980年代

1988. 3.13　青函トンネル開通

1988. 4.10　本州四国連絡橋の瀬戸大橋開通

1989. 1. 8　「昭和」から「平成」へ

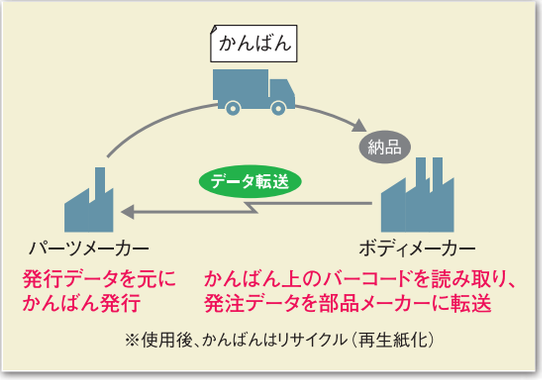
1989. 4. 1　消費税3%スタート

1989.11.　ベルリンの壁崩壊

1990. 4.　日本製紙連合会による古紙利用率を今後5年間で55%とする「55計画」を打ち出す

1990.10.　東西ドイツ統一

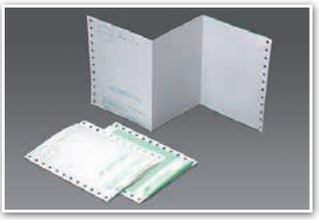
1990.11.17　長崎雲仙普賢岳噴火



1991.10.16 九州小林記録紙設立

九州小林記録紙
正門

1992. 【NIP製品】
三つ折圧着方ハガキ「みつおりくん」
(当社圧着ハガキの名称)
圧着ハガキ生産に着手、販売開始。
当初は糊塗工原紙への印刷に苦心するも、
L・N・W仕様などユーザーの要望にあわせた幅広い
ラインナップを可能とした


みつおりくん

【セキュリティ関連】
コピーガード帳票
セピア・濃紺の色調で地紋印刷を施し、その上に
NIPなどで黒色の印字を行うと、目視では印字内容が
確認できるが、モノクロコピー機では同様に黒色で
再現され印字内容が確認しづらくなる。これにより、
機密情報の不正流出を防ぐことが可能

コピーガード帳票

1992. 9.23 【野球部】天皇賜杯第47回全日本軟式野球大会
にて優勝

1991. 1.17 湾岸戦争勃発

1991. 4.26 リサイクル法公布

1993. 4. 十条製紙株式会社と山陽国策パルプ株式会社が合併し日本製紙誕生

1993. 5.18 マイクロソフトがウィンドウズ日本語版を発表

1993. 6. 9 皇太子ご成婚

1994. 4. 1 日本フォーム印刷協議会が日本フォーム印刷工業連合会（日本フォーム工連）へと名称変更

1994. 6.27 松本サリン事件

1995.　【カード製品】

アルミ蒸着カード（白濁・透明方式）

白濁印字の反射層として、アルミ蒸着層を設けたタイプ。この頃から、他社もリライトカードを手がけ始める

アルミ蒸着カード

【ヘルスケア製品】

VL-150

検体ラベルの発行と採血管への貼り付けを同時に行うセミオートラベラー。採血済みの採血管に後からラベルを貼り付けることも可能な製品

VL-150

UL-200

連結により多様な採血用の管種に対応可能な自動採血管フルオートラベラー。
当時、業界最速のスペックを実現

1995.　9.13　小林社長　(社)日本印刷産業連合会「特別表彰」受賞

1996.　【ラベル製品】

1P配伝（NIP配送伝票）

従来の宅配便などの配送伝票は、4～8綴りの複写式伝票を使用しており、物流の各拠点で1枚ずつ切り取り保管することで荷物情報の管理を行っていた。物流のEDI化により伝票にプリントされたバーコードを使用しネットワークを介してデータで情報管理が行われるようになり、各中継店で、紙で控えを残す必要がなくなった。物流業務の効率化、用紙コスト削減、環境保護の観点から複写式伝票から3層構造の1P配伝が普及

1P配伝
（NIP配送伝票）

【カード製品】

ICカード生産開始

非接触式タイプICカード。
ICカードはホワイトカードタイプで、このとき

1990年代

1995.　1.17　阪神・淡路大震災発生

1995.　3.20　地下鉄サリン事件

1995.　7.　1　製造物責任法（PL法）施行

1995.12.18　日本印刷産業連合会と会員10団体連盟で用紙価格急騰による業界の窮状を訴える全国紙への全面広告出稿

ホワイトカードへのカード印刷技術を確立

ICカード

【ヘルスケア製品】
HL-100
検尿コップ用のオートラベラー。
この製品では、ラベリングの全自動化を実現

HL-100

1996. 7. 5 上海に中国上海航空印刷有限公司との合弁会社「上海祥浩印務有限公司」設立

1997.

【RI製品】
トップコート検針票
1990年代に業務効率化のために電気・ガス・水道の関連会社の検針業務にハンディターミナルが導入されたことにより、ハンディターミナルで使用する屋外検針票はまたたく間に広がりをみせた。「トップコート検針票」は、屋外で使用するため水に強いものが欲しいというユーザーニーズに応えた撥水性・対傷性に優れた検針票である

トップコート検針票

【デジタルカラー印刷】
印刷物を必要なときに必要な部数だけ印刷するPOD（プリントオンデマンド）事業を開拓。
こののち、「one source multi use」をキーとしたPODからデータベースまでを領域とする「ソリューションビジネスへの展開」を目指すこととなる

デジタルカラー印刷で作成した学位記・証書

【磁気製品】
磁気製品(サーマル印字方式)生産開始
磁気が塗布されたサーマル印字に対応した原反に印刷仕上加工を行う製品。

【個人消費者向け製品】
ポストdeシール

1997. 4. 1 消費税3%から5%へ引き上げ

1997. 7. 1 香港、中国に返還

産学共同による初の個人向け製品。
家電店やショッピングセンター、文房具・事務用品店で販売

ポストdeシール

1998. 2. 7 長野冬季オリンピック開幕

1999. 4. 安城工場にてISO14001認証取得

1999. 7. プライバシーマーク使用許諾認定取得

1999. 10. 1 WEB型受注「OK-shop」稼動開始

1999. 1. 1 欧州連合（EU）の単一通貨「ユーロ」誕生

1999. 2. 1 高崎製紙株式会社と三興製紙株式会社が10月1日付で合併

1999. 【カード製品】
ロイコカード(ロイコ式)
ロイコ染料を用いたリライトカード。
黒・青・赤色の発色が可能。透明/白濁タイプと比較して視認性に優れる

ロイコカード
（ロイコ式）

【ヘルスケア製品】
ip-100
小型・低価格のラベルプリンタ。
トップシェアの地位を確立

ip-100

2000. 【NIP製品】
みつおりくんJr.
三つ折ハガキ（みつおりくん）の製造コスト削減のため、三つ折ハガキの内製化に着手し、成功。
高価な特殊原紙を使用しない「みつおりくんJr.」が誕生し、製造コストを大幅に削減

2000. 4. 1 介護保険制度発足

サービス)への移行と新事業への拡大

にあった複合提案へ進化

みつおりくんJr.

2000.10. 安城工場が安城市より「安城市環境衛生功労賞」を受賞

2000.10.19 「日本障害者雇用促進協会会長賞」受賞

2001. 【ヘルスケア製品】
KP-100/EB、リストバンド
患者の取り違えミス防止のニーズに応えた製品。
赤ちゃんからお年寄りまで使える肌に優しい
リストバンド

患者認識用リストバンドと
プリンタ

i・pres
採血業務支援システム。
採血業務の効果的運用を実現した

i・pres

2001. 1.12 社内ベンチャー「サイバー本舗株式会社」設立

2001. 3. 本社および本社工場　ISO14001認証取得

2002. 【カード製品】
顔写真入りIC社員証
非接触ICカードの表側に顔写真をプリントした
カード。カードプリンタを導入し受託ラインを構築

顔写真入り
IC社員証

【個人消費者向け製品】
思い出BOOK
一般のお客様が手軽に写真をレイアウトし
コメントをつけることができる編集ソフトを独自
開発し、インターネット上に無料配布を実施。
そのソフトを使用してお客様が編集したデータを
インターネット回線で受け取り、印刷・製本して
お客様に届けるサービス

思い出BOOK

2002. 9.19 一般社団法人 日本印刷産業連合会の環境優良
工場表彰で「経済産業省商務情報政策局長賞」を
本社工場が受賞

2001. 4. 1 情報公開法スタート

2001. 9.11 アメリカで同時多発テロ

2002. 1. 1 ヨーロッパ12か国で「ユーロ」流通開始

2002. 5.31 サッカーW杯が日韓共催で開幕

2002. 8. 5 住民基本台帳ネットワーク稼動

2003.　【カード製品】
住基カードを自治体に納入

【ヘルスケア製品】
i・pres gear
i・presの小型・低価格版をリリース

i・pres gear

2003. 12.　九州小林記録紙　ISO14001認証取得

2004.　【RI製品】
機械読み取り（OCR・バーコード）対応検針票
ユーザー要望に応え、OCR・バーコードなどの機械読み取り可能な用紙を開発。従来、検針員が持ち帰ったデータを元に作成・郵送していた振込用紙を検針票発行時にその場で同時発行することを可能とし、検針業務の効率化と郵送コストの削減に貢献

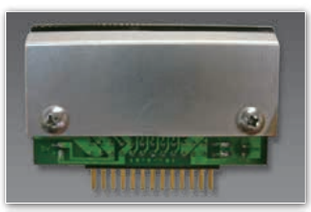
機械読み取り
（OCR・バーコード）
対応検針票

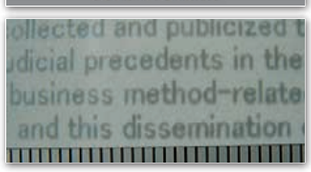
2004. 3. 24　「愛知ブランド企業」認定

2005.　【ラベル製品】
メリットフォーム
2層構造で3層タイプと同様な機能を持つ1P配伝を開発。2層タイプのコストで3層タイプの特長（届け時の美観、落伝リスクなし）を持つ。

メリットフォーム

【次世代】
電子ペーパー印字成功
サーマルヘッドを応用した試作イオンフローヘッド（呼称：IPヘッド）による電子ペーパーへの画像印字に成功





電子ペーパー印字成功

2003. 3. 20　米・英軍がイラク攻撃開催

2003. 4.　新型肺炎「SARS」が東南アジアに広がる

2004. 10. 23　新潟中越地震発生

2005. 2. 17　中部国際空港開港

2005. 3. 25　愛・地球博（愛知万博）開催

2000
年代

【ヘルスケア製品】
KP-300
検体処理用バーコードプリンタ。BPシリーズの後継機であり、KPシリーズの1機種

KP-300

2005. 2. 2 新関西情報処理センター始動

2005. 4.22 東京情報処理センターにて情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）認証取得

2006. 【RI製品】
リライトかんばん・RFIDかんばん
テスト取り組み開始

【次世代】
研究発表
日本経済新聞、日刊工業新聞にてIPヘッド開発を新聞発表。日本画像学界にてIPヘッドに関する学会発表。E INK社との共同開発契約を締結

2007. 【IT関連】
新e-かんばん受信システム
自動車メーカー向け号口部品受信出荷システム

2007. 4. 新社名発表「小林クリエイト株式会社」

社名変更を伝える広告
（上段：6月1日掲載　下段：10月1日掲載　日本経済新聞）

2007. 4. 創立70周年記念式典開催
（新社名・中期経営計画発表）

2008. 電子校正システムを導入
遠隔地へのPDF電子校正が可能となり、校正の受け渡しが時間単位でできるようになった。

【カード製品】
リライトかんばん
リライタブルハイブリッドメディアの本番稼動

【ヘルスケア製品】
i・pres fit
健診施設および小規模病院向け小型自動採血管準備装置の発売開始

2006. 1. 1 三菱東京UFJ銀行発足

2006. 1.23 日本郵政株式会社発足

2008. リーマンショックをきっかけに景気後退

i・pres fit

2008. 1. 古紙偽装問題
年賀はがきの再生紙はがきに古紙が入って
いないことが発覚し、製紙業界全体の問題となり、
当社も大きな影響を受ける

2008. 4. ISO/IEC27001（ISMS）認証範囲に中部情報処理
センター、関西情報処理センターを加え拡大

2008. 8. ISO9001認証取得

2009. 【ヘルスケア製品】
i・pres with
採血管準備装置の
当社主力製品。
社内開発・製造を行った
初号機

i・pres with

2009. 2. 中部情報処理センター増改築

2009. 4. 1 株式会社ケーピーシー設立

2009. 7. 1 確定拠出企業年金（DC）制度導入

2009. 10. 1 小林コマース株式会社を完全子会社化

2009. 10. 1 株式会社コスメックを小林クリエイトに吸収合併

2009. 12. 21 小林友也が代表取締役社長就任
小林祥浩が取締役会長就任

2009. 1. バラク・オバマ氏が黒人初の大統領に就任

2009. 5. 裁判員制度導入

2010. 【NIP製品】
メリットフォーム・プラス
市場の３層配伝からの帳票レイアウト変更が
不要な２層配伝を開発。
大規模通販・物流企業様に最適。

【ヘルスケア製品】
CL-300
ハルンカップラベラー ＨＬの後継機。
小型化、ラベルセット・印字方式を簡略化した。

CL-300

2010. 10. 当社経営理念を改訂

2010. 8. ISO9001認証取得適用範囲にＦＰＳ、医療・健診
支援システムを追加

2011. 【ヘルスケア製品】
健診のお知らせ発送業務
受診者情報（氏名・生年月日・性別・住所など）と
受診の予約日や検査内容に基づき、受診者別の

2010. ギリシャ経済危機

2010. 12. 東北新幹線（八戸～新青森間）開業

2011. 地上デジタル放送への完全移行

2011. 3. 九州新幹線（博多～新八代）開業

2011. 3. 11 東日本大震災発生

問診表やチラシなどの個別案内を印刷

【NIP製品】
ＭＦリバース
裏面を納品明細書や広告媒体として利用できる
メリットフォームをリリース

【アグリ事業】
ツブリナ栽培
当社安城工場にて、新規事業（植物工場）取組試行。
日本アドバンスドアグリ製栽培設備導入

ツブリナ

【ヘルスケア製品】
見える化RFIDタグ
健診情報収集支援システム「見えるRFIDタグ」

見える化RFIDタグ

2011. 6. あいち海上の森「海上の森プロジェクト」に参加

2011.11. JIPDEC（プライバシーマーク付与機関）より、
プライバシーマーク貢献事業者として表彰を受ける

2012

【印刷技術】
RGBトリックインキ技術の開発
紫外線を照射するとフルカラーで浮かびだす
蛍光印刷の技術確立を行なった。
カレンダーやパンフレットに使用。

【ヘルスケア製品】
i・pres core
採血管準備装置 多管種モデルの発売開始。
ランダムピッカー、パッキングユニット、ラベル
交換時のオートセット機能等の新技術を搭載。
採血管準備装置の当社主力製品。
社内開発・製造を行った初号機

i・pres core

整備完了タグ（アイデア製品）
ハンドリングのし易さと機能性を兼ね備えた
ディーラ整備に使用できる規格品

2012. 5. 東京スカイツリー開業

2010
年代

整備完了タグ

【IT関連】
agis生育管理システム
工業のノウハウを農業に利用した生育管理システムをリリース。
当社植物工場でも生育管理用システムとして導入

2012. 4. 1 中国上海に小林可利愛特（上海）貿易有限公司を設立

2012.12.20 小林祥浩が名誉会長就任

2013. 【次世代】
複製防止QRコード対応用紙
複製防止機能を兼ね備えた次世代QRコードに対応した用紙。
セキュリティが要求される施設への入退場で使用されている

複製防止QRコード対応用紙

【ヘルスケア製品】
ip-66、ip-206、ip-226
現在販売中の当社 主力機器の発売開始。
年間5,000台超の販売実績のあるヒット商品

ip-226

【IT関連】
agis小規模トレーサビリティシステム
製造現場の見える化を推進する
製造管理システムをリリース

2013. 1.10 富士工場にアグリ事業の拠点を移動し拡大を図る

2014. 【ヘルスケア製品】
web予約システム（自治体版）
健診施設（自治体）向け予約受付業務ソリューションをリリース

指標化システム
㈱麻生飯塚病院、東京大学工学部医療社会システム講座との協同開発で国内発の採血業務指標化システムをリリース（特許出願：2015.9）

電動昇降台KSシリーズ
天板跳ね上げ方式を採用し、国内発の販売開始

2014. 4. 1 消費税8%に引き上げ

2014.12.10 特定秘密保護法施行

電動昇降台
KSシリーズ

2015.

【カード製品】
レーザーマーキングカード
ＩＤカード用途として従来の昇華転写プリントに替わるプリント方式のレーザーマーキング方式と「複製防止ＱＲコード」とを組み合わせたカードの開発開始

レーザーマーキング
カード

【ヘルスケア製品】
ストレスチェックVer.2.0
法制化対応したストレスチェック業務支援サービスをリリース

2015. 12. ワークライフバランス推進委員会設立

2015. 3. 北陸新幹線（長野～金沢間）開業

2015. 9. 安全保障関連法成立

2015. 10. マイナンバー法施行、通知カード発送開始

2016. 4. 16 熊本地震発生